

縄文ポシェットの作り方

【用意するもの】

- ・紙テープ(クラフトテープ)…幅1.5cmのもの。約6m。
- ・麻ひも(細いもの)…約3m(底面を固定する分1m・口を固定する分と肩ひも2m)
- ・はさみ・ペットボトル・輪ゴム・定規・千枚通し
- ・メンディングテープかセロテープ(底面を固定するために使用)

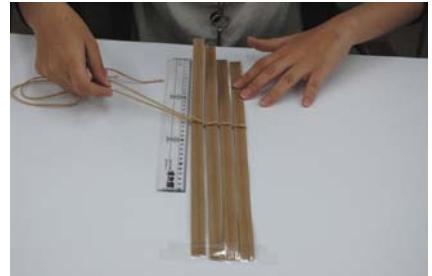


【紙テープを切ろう】

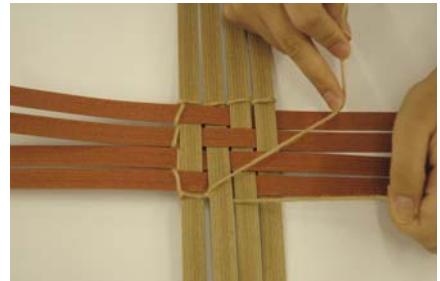
ポシェットの底を編む紙テープは、たて4本と横4本の合わせて8本。側面を編む紙テープは8本。合計16本必要です。たて・横計8本は40cm、側面用8本は35cmの長さに切れます。

【底を編もう】

- ① 40cmに切った紙テープをたてに4本並べます。ずれないようセロテープ等でテーブルに固定すると作業しやすいです。手前から16cmのところに、二つ折りにした麻ひもをテープに交互にくぐらせ、はしまできたら1回結びとめます。



- ② ひもを結びとめたところから、横の紙テープを2本おきにくぐらせて編んでいきます。2本目よりあとは、たての紙テープ1本分ずつずらして、模様が階段状になるよう編みます。4本編みあがったら、ずれないようまわりに麻ひもをくぐらせてとめます。一周したところを2、3本通り越したあたりで2度結びをしてはしを切れます。



【側面を立ち上げよう】

麻ひもでとめたところから紙テープを折り曲げ、立ち上げます。この時、ガラスびんやペットボトルのような芯になるものを内部に入れ、上方を輪ゴム3本くらいで押さえます。



【側面を編もう】

底面と同じように2本おきに紙テープをくぐらせ編んでいきます。一周編み終えたはしは、二重に編み込んで表から見えないようにします。

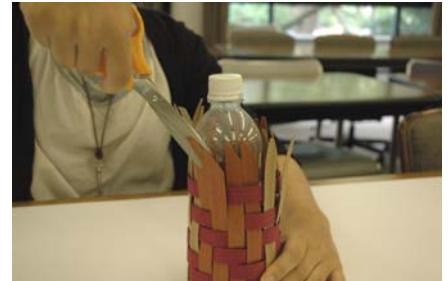
3段目くらいまでは、ぐらぐらしてなかなか落ち着いてくれませんが、上へと編み進めるうちに次第に安定してきます。すきまがなくなるように、下へ引き下げて、引き締めながら、7段編んでいきます。



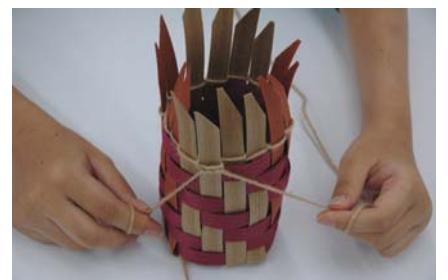
【口の部分を仕上げよう】

① まず、テープを通しやすくするため先を三角に切れます。

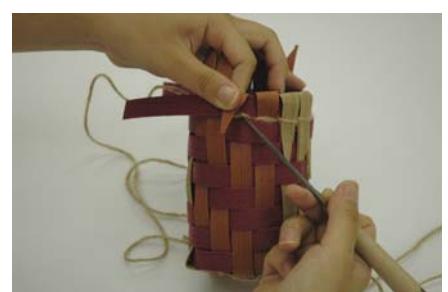
7段編み終わったら、底と同じように麻ひもをくぐらせてとめています。



② ペットボトルをはずして、全体の形をととのえます。麻ひもの上部に口芯となる紙テープを1本まわします。たてのテープを外側に折り曲げて、口芯の上にかぶせます。



③ 三角の先端を千枚通しを使ってひもの隙間に入れていきます。その際けがをしないよう注意しましょう。テープの先がかくれるよう、模様にそって編みこみます。



【完成です】

口ひもを適当な長さに結び、縄文ポシェットの完成です。

紙テープを裂いて細くしたり、本数を増やしたり、いろんな色の紙テープを使って、おうちでも楽しんでください。

